

雨のなか多くの方が参加

仁多米づくり 農村体験交流を開催



▲ 雨のなか手植えをする参加者

料理研究家の中村成子先生が館長を務める「ふれあい交流館・一味同心塾」において今年で五回目となる仁多米づくり・農村体験交流が五月二十七日に開催されました。地元の方で結成する「仁多米づくり実行委員会」が広く呼びかけ、今年も東京都、広島県、鳥取県、県内からは安来市、出雲市等から百人を超える参加がありました。

また、三年前から中村館長を通じて交流している海士町からの参加者もありました。

豊作を願う神事が行われた後、訪れた参加者はいいにくの雨模様の中かっぱを着込んで水田に入り、昔ながらの手植えでコシヒカリの苗を丁寧に植えました。

初めて手植えをする方も多く、地元の人から指導を受ける姿も見られました。

二時間後には、谷ウツギ（早乙女花）で飾られた約三十畝の水田に苗がきれいに植えられていました。

九月下旬には再度、稲刈りで体験交流を行う予定です。

平成十八年度

第二回 奥出雲町 子牛共進会 開催

平成十八年度の第一回奥出雲町子牛共進会が仁多中央家畜集合所において六月九日に開催されました。

当日は町内九地区から選抜された四十二頭の肉用子牛が、審査員によりそれぞれ個体審査、比較審査されました。

また、来年十月に鳥取県で開催される「第九回全国和牛能力共進会」で、本町は第五区「繁殖雌牛群区」に島根県代表として出場が決定しています。が、出品候補牛の強化を図り、

本大会への上位入賞を目指し、全力で取り組んでいます。



▲ 共進会の様子

【成績表】

成績(序列)	名号	出品者	地区
特選賞 首席	「あやか」号	部田泰久	八川支部
特選賞 次席	「さちひら」号	部田良雄	八川支部
特選賞 参席	「いずふく」号	和泉英富	阿井支部
特選賞 四席	「のぞみ10」号	川西悦子	横田支部
団体優勝	三成	支部	

カルチャープラザ仁多図書室 新刊紹介

「あおい玉 あかい玉 しろい玉」

稲田和子 再話 太田大八 絵/童話館

こぞうがくりひろいに行くと日が暮れてしまい、とめてもらった家のおばばは人食いであった。便所の神様に助けられたこぞうは宝の玉を3つもらい逃げる。

さー人食いおばばから逃げられるでしょうか？

「ヘブンショップ」

デボラ・エリス 作 さくまゆみこ 訳/スズキ出版

エリスさんは、世界を回り戦争や貧困や災害や病気を抱えて生きる子どもたちを書き続けておられる。この本はエイズと貧困の中で生き抜く子どもの物語。

7月の休館日 3日、10日、17日、24日、31日

「息子たちと私 ー子供あつての親ー」

石原慎太郎 著/幻冬社

4人息子の中で長男と3男は政治家、次男は俳優、末っ子は画家、独立して仕事に励んでおられるが、今でも何かと気にせずには居られないようだ。子育てから現在は6人の孫たちとの体験談。

「リサイクルペーパーで作る折り紙小物」

内藤 郎 編集/ブティック社

雑誌、包装紙、新聞紙、カレンダー...いらなくなった紙が折るだけで素敵で便利な小物に変身します。